



～植村直己の精神とともに～

©文藝春秋

生涯挑戦

植村直己顕彰事業

2026日本冒険フォーラム

日時

2026年10月24日(土)
13時15分～(受付12時30分～)

会場

豊岡市民プラザ(アイティ7階)
ほっとステージ及び市民活動室C・D
〒668-0031 兵庫県豊岡市大手町4番5号(豊岡駅前)

定員

第1部 300名(参加費 無料)
第2部 80名(参加費 500円 当日支払)

世界初の五大陸最高峰登頂や北極点犬ゾリ単独行など、厳しい自然と向き合いながらもその困難に挑戦し続けた植村直己。そのチャレンジ精神を次世代へ継承し、一度限りの人生、限られた命を輝かせることの大切さを考える「日本冒険フォーラム」を、これまで東京で開催してきましたが、今回、植村直己の故郷・豊岡市で初開催します。挑戦する人、応援する人が響き合い、未来へ向けた新たな一歩を踏み出すきっかけを創ります。ぜひ、ご参加ください。

主な日程・内容

第1部 フォーラム	13:15～	開会・表彰「私のチャレンジ(※裏面参照)」表彰
	13:35～	植村直己記録映像上映「素顔の植村直己 ～夢果てしなく 愛かぎりなく～」
	13:55～	基調講演「植村直己さんが教えてくれたこと～挑戦する心と生きる力～」市毛 良枝さん(俳優)
	14:25～	語り・回想「我が友 植村直己 ～その志と人間力～」廣江 研さん(植村直己の大学時代の友人)
	15:05～	パネルディスカッション(※出演者は裏面)「極限の自然と向き合って ～マッキンリーが示してくれたこと～」
第2部 集いの場(交流会)	17:00～	第2部開会・情報交換など

2026日本冒険フォーラム 参加申込方法【受付締め切り 2026年10月19日(月)】

- ①WEBでの申込：右の二次元コードから必要事項を入力の上、お申し込みください。
②電話での申込：日高振興局 地域振興課へ電話にてお申し込みください。
③メール・FAXでの申込：以下の申込欄に必要事項を記入の上、日高振興局 地域振興課へお申し込みください。
※お申し込み後、入場整理券を発送します。※受付期間内に定員を超えた場合、申込受付を締め切らせていただく場合があります。

FAX送信先:0796-42-1120 (日高振興局 地域振興課 地域振興係 行き)



WEB申込

氏 名	住 所	参加希望の部	TELもしくはメールアドレス
代 表 者		☐ 1部 ☐ 2部 ☐ 1部と2部	
		☐ 1部 ☐ 2部 ☐ 1部と2部	
		☐ 1部 ☐ 2部 ☐ 1部と2部	



豊岡市
TOYOOKA CITY

主催：兵庫県豊岡市(植村直己が生まれ育った町) 協力：植村直己冒険館
お問い合わせ：〒669-5391 兵庫県豊岡市日高町祢布920番地 豊岡市役所 日高振興局 地域振興課 地域振興係
TEL.0796-21-9056 FAX.0796-42-1120 E-Mail: hidaka-chiiki@city.toyooka.lg.jp

基調講演

市毛 良枝
(いちげ よしえ)「植村直己さんが教えてくれたこと
～挑戦する心と生きる力～」

静岡県生まれ。俳優。NPO法人日本トレッキング協会理事。誘われて行った初登山が楽しく、自然の魅力にひかれてアウトドア全般に関心を持つ。以来、以前から問題意識を持っていた環境問題にも関心を深め、環境カウンセラーとして登録、第7回環境大臣賞(2025年/市民部門)受賞。初回(2011)より日本冒険フォーラムにゲストとして参加している。パネルディスカッションにも出演。

語り・回想

廣江 研
(ひろえ けん)「我が友 植村直己
～その志と人間力～」

1941年、鳥取県生まれ。明治大学山岳部の植村さんの同級生。入部した1965年当時、30数名いた新入部員は、卒業時、植村さん、廣江さんを含め4名のみに。植村さんとは、大学卒業後も親しく付き合いを続け、植村さんが1984年2月、マッキンリーで消息不明になった時は、第2次捜索隊の隊長を務めた。社会福祉法人こうほうえん会長。

神長 幹雄
(かみなが みきお)パネルディスカッション
コーディネーター

1950年、東京都生まれ。大学卒業後、山と溪谷社入社。雑誌編集部を経て、『山と溪谷』編集長、出版部長を歴任。長年にわたり出版雑誌や山岳書籍の編集に携わる。海外取材の経験も多く、個人的にも60カ国以上を旅する。植村さんをはじめ、多くの登山家と親交があり、共著『日本人とエベレスト』で梅棹忠夫・山と探検文学賞を受賞。日本山岳会会員。

パネルディスカッション・パネリストの皆さん



石川 直樹 (いしかわ なおき)

1977年、東京都生まれ。写真家。高校時代から世界への旅を始める。1998年、20歳でマッキンリー登頂。2001年、当時の最年少記録(23歳)で世界七大陸最高峰登頂を達成。2024年には8,000m峰全14座登頂を完登。その後も世界各地を旅しながら数多くの写真集、書籍などを発表。



栗秋 正寿 (くりあき まさとし)

1972年、福岡県生まれ。登山家。アラスカの大自然に魅せられ、冬季アラスカ山脈の単独登攀に長年挑戦。2007年、フォレイカー(5,304m)の冬季単独登頂に成功。過酷な極寒地における数々の最先端記録を打ち立て、その比類なき情熱と冒険心から、2010年第15回植村直己冒険賞を受賞。世界を代表する極地クライマーの一人。



佐々木 大輔 (ささき だいすけ)

1977年、北海道生まれ。国際山岳ガイド・山岳スキーヤー。ビッグマウンテンスキーの世界大会に出場し、その後は国内外の山岳を舞台にシュプールを残す。ネパール・マナスル(7,400m地点)からの滑降や利尻岳西壁の初滑降、2017年のマッキンリー南西壁の大滑降などを行う。現在は国際山岳ガイドとして、国内外でガイド活動を行っている。

私のチャレンジ

豊岡市は「挑戦する」子どもたちを応援します!!

植村直己の「挑戦する心」を豊岡の子どもたちへ

豊岡市では、この夏、この地で生まれ育った冒険家・植村直己さんの精神や人となりや次世代へつないでいく取組の一つとして、市内小学6年生を対象に「私のチャレンジ」コンテストを実施しました。テーマは「挑戦(チャレンジ)」と「植村直己」。大切なのは、植村直己さんの偉業を知ることだけではありません。自分自身と向き合い、「やってみよう!」「挑戦してみよう!」「頑張るぞ!」という思いを持ち、実際にその一歩を踏み出してみること。私たちは、そんな子どもたち一人一人の挑戦を応援したいと考えています。この「私のチャレンジ」が、子どもたちにとって新たな一歩を踏み出すきっかけとなり、ふるさと豊岡で、たくましく、自分らしく成長していくことにつながればと願っています。

植村直己冒険館
Uemura Naomi Memorial Museum〒669-5346 豊岡市日高町伊府785
TEL.0796-44-1515～小さな冒険がココからはじまる～
来て、見て、感じる。

夢に向かってひたむきに生きた植村直己。
その熱き想いを感じる空間へ。



ホームページ



Instagram



チャレンジ応援祭

豊岡市
TOYOOKA CITY

主催：兵庫県豊岡市(植村直己が生まれ育った町) 協力：植村直己冒険館
お問い合わせ：〒669-5391 兵庫県豊岡市日高町祢布920番地 豊岡市役所 日高振興局 地域振興課 地域振興係
TEL.0796-21-9056 FAX.0796-42-1120 E-Mail: hidaka-chiiki@city.toyooka.lg.jp